

鐘撞山～片縄山 低山ロングハイク ～二点鎖線を追って～

【報告者】T橋

【日時】2018年4月7日 【天候】曇りのち雪

【参加者】T橋

《コースタイム》

J R周船寺 0630－飯氏神社－鐘撞山 0730－高祖山－日向峠－飯場峠－西山 1150－早良(コンビニ休憩)
－荒平山 1400－油山 1430－萩の原峠－糠塚山 1550－片縄山 1620－柏原バス停 1700

《 報 告 》

最近はおっぴら地図を見れば市町村の境界を示す二点鎖線を追ってしまう。境界を示す杭が打たれたそのラインは多くが尾根筋をトレースしていて、そこは「道はないが歩ける」。もちろん多少のヤブはあったり迷いやすいところもあるが、そこをつなげることで新しいルートが見えてくるのが面白い。

早朝のJ R周船寺を降り、集落を抜けて最初のピーク鐘撞山へ向かう尾根にのる。ヤブっぽいのはほんの最初だけで、ルートは西区と糸島市の境界と重なり、走り出せるくらいとてもよく整備されている。ときおり可也山やドーム越しに海が見える。

叶岳との分岐を過ぎると、いよいよ道のない尾根に入っていく。とはいえこの辺は下見山行にも来ているので、とんとん進んでいける。日向峠を越え、向かい側の急登をこなして475ピーク。ここから旧三瀬街道の飯場峠まで、登山用と作業用のテープが錯綜し、似たような尾根が誘う今回の核心部。おまけに下見のときよりなんだか草木が元気になってる感じ。強い風に雪が舞いはじめ、なんだか舞台は整った的な気持ちになる。さあ行こう。低山だってアドレナリン出まくりだ。



【鐘撞山から能古島を望む】



【核心部はコンパスと首っ引き】

核心を越えれば、いったん集落に下ってコンビニ補給。遠回りも苦にせず辿り着いたファミマで大好きなアメリカンドッグを…売ってない。だがなににせよイトインであったかい飲食がとれるのはありがたい。

ここから後半戦。二点鎖線とは離れるが、最短距離の道のない尾根で荒平山へ。300m地点で登山道に合流したら、あとはダブルストックで淡々と進むだけだ。相変わらず横殴りのような雪が舞い、寒くてあまり休憩してられない。今回の計画の最高地点は油山599m。今まさに標高も寒さもピーク

付近だろう。下り始めればマシになるはずと足も早まる。もーもーらんの車道を下って萩の原峠へ。ここからは初めて登るルート。地形図で見ると何度か大きく方向を変えているが、手作りの道標がしっかり導いてくれる。リードジム組との飲み会合流時間が気になり始めたころ最後のピーク片縄山へ。バス停に向かって下り始めたら、眼下に見える福岡市街に青空が広がりつつあった。



【雪が舞う油山付近】



【ラストの展望は青空も！】

【本日の行程】

